

# 進んでいます！

## 小中一貫教育、コミュニティ・スクール



地域の方の指導による田植え (毛呂山小学校)



民踊連盟による毛呂山音頭の指導 (川角小学校)



ワンダーハウスでの吹奏楽部の演奏 (毛呂山中学校)



地域の方との美化活動 (川角中学校)



ボランティアによる読み聞かせ (泉野小学校)



城西大学留学生との交流会 (光山小学校)

小中一貫教育、コミュニティ・スクールって何だろう？

小中一貫教育とは、義務教育9年間での子供たちの成長や学びを、子供同士の交流、教師間の連携・協力を通し、共通の目標に向かって、より質の高い教育活動を行っていくことを指します。

コミュニティ・スクールとは、こうした小中一貫教育で学ぶ子供たちを、学校の教師だけでなく、広く保護者や地域住民の皆さんとともに、協働して健やかな成長を支えていく仕組みです。そのために学校は、学校経営方針を承認いただく学校運営協議会を設置し、地域住民の代表の皆さんから様々なご意見をいただきながら地域とともにある学校づくりを進めています。

小中一貫教育は、教育内容の充実をめざし、コミュニティ・スクールは、こうした学校を支える仕組みといえます。

### 毛呂山町の取り組み

毛呂山町では、中学校区での小中一貫教育を進めるとともに、平成31年4月から町立小中学校をコミュニティ・スクールに指定しました。現在、小中学校の教員および児童生徒の連携を進めつつ、学校と地域の方との協働による学校づくりに取り組んでいます。

# なぜ小中一貫教育とコミュニティ・スクールの推進が必要なのか

## 子供たちを取り巻く環境

少子化による人口減少、高度情報化、地域社会の繋がりがや支え合いの希薄化など、現在の子供たちの周りには様々な問題があります。なかでも少子化は深刻な問題であるといえます。

## 少子化の影響

ではなぜ少子化が深刻な問題となるのでしょうか。

下の表は、今後の町立小中学校の児童生徒数等の推移の見込みです。児童生徒数が減少すると、それに伴い学級数が減少します。学級数が減少するとクラス替えができなくなります。子供たちが成長するためには、様々な価値観に触れ、考えることが重要です。クラス替えができないと子供たちが人間関係を形成していく上で必要な多様性を経験しにくくなるといった影響が考えられます。

## 教員の配当の減少

また、学級数の減少は、教員の配当にも影響します。教員には、授業以外にも食育や情報教育、安全教育といった校務

分掌があります。教員の配当が減少すると、一人の教員が担当する校務分掌が増え、教員の負担が増加します。また中学校では教科担任制であるため、授業自体に影響が出ます。教科担任制のもとで教科を受け持つ教員が必要な教科は、道徳、総合的な学習、特別活動を除いた9教科です。国語や数学など授業時間が多い教科においては複数の教員がいないと時間割を組むことが難しくなります。

## 小中一貫教育とコミュニティ・スクールの推進

このような現状を変えるのが小中一貫教育とコミュニティ・スクールです。

小中一貫教育を進めることで、子供たちの小学校から中学校へのスムーズな接続が図られるようになるだけでなく、小中学校教員の連携により、授業の充実と教員の指導力の向上にも繋がります。

コミュニティ・スクールを推進することで、保護者や地域の方々がより積極的に教育活動に関わることができるようになり、学校活動の充実が図られ、児童生徒の社会性が身に付くなどお互いに良い相乗効果が期待できます。

今後予測される児童生徒数、学級数、小中学校配当教員数の推移

学校名	毛呂山小学校			川角小学校			光山小学校			泉野小学校			毛呂山中学校			川角中学校		
	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	生徒数	学級数	教員数	生徒数	学級数	教員数
R 1	358	12	16	386	12	16	228	8	11	375	12	16	444	12	20	331	10	18
R 2	351	12	16	390	13	17	214	7	10	346	12	16	439	12	20	328	9	17
R 3	335	12	16	373	13	17	214	7	10	338	11	15	404	11	19	319	9	17
R 4	320	12	16	358	12	16	208	7	10	318	11	15	396	11	19	307	9	17
R 5	319	12	16	337	12	16	212	8	11	278	10	13	370	10	18	291	9	17
R 6	302	12	16	314	12	16	208	7	10	257	9	12	353	10	18	296	9	17
R 7	290	12	16	280	11	15	192	6	9	252	9	12	301	9	17	283	9	17
R 8	272	11	15	250	11	15	183	6	9	240	9	12	290	9	17	283	9	17
R 9	260	11	15	243	11	15	174	6	9	232	9	12	285	9	17	266	8	15
R 10	246	11	15	231	11	15	159	6	9	212	8	11	304	9	17	261	8	15
R 11	236	10	13	229	11	15	140	6	9	216	8	11	273	8	15	239	8	15
R 12	234	10	13	226	10	13	127	6	9	223	8	11	242	7	14	234	7	14
R 13	226	8	11	237	10	13	127	6	9	225	7	10	208	6	12	192	6	12
R 14	219	6	9	231	9	12	123	6	9	219	6	9	209	6	12	176	6	12
R 15	213	6	9	225	7	10	120	6	9	213	6	9	220	6	12	165	6	12



# 進んでいます！ 小中一貫教育、 コミュニティ・スクール



「がん教育」について、毛呂山中学校区（毛呂山中学校・毛呂山小学校・泉野小学校）で教職員対象に研修を行いました。埼玉医科大学国際医療センターの田中教授に講義をしていただきました。



毛呂山中学校陸上部の皆さん  
前列左から松井海斗さん、龍川ひなたさん、白石葵さん、桑田葵さん、後列左から高橋陽花さん、志賀仁奈さん、山田鈴月さん、櫻井華雪さん、本間風楽さん、松澤虹輝さん



毛呂山中学校陸上部による泉野小学校児童に対しての「支部体育大会前の陸上指導」の様子

**教**えることは、とても難しかったです。教えることで自分たちの勉強になったこともたくさんありました。みんなが一生懸命に聞いてくれたことが、とても嬉しかったです。泉野小のみんなが支部体育大会で良い結果を残し、陸上をもっと好きになってくれたら、いいなと思います。また教えるにいたら嬉しいです。



指導してもらった泉野小学校6年生の皆さん  
前列左から浅倉凌太さん、柴下翔輝さん、後列左から森川叶愛さん、村上璃捺さん、福留百夏さん

**直**ぐにはできないこともありましたが、種目ごとに優しく教えてもらったので、支部体育大会には自信を持って出られました。そして大会ではみんな記録が伸びました。また、ぜひ教えてほしいです。



川角中学校区「小中一貫授業と教員同士の研究会」の様子

今回の授業研究会では、生徒同士のグループ学習に参加しました。授業では、生徒同士が互いに教え合う姿勢が見られ、とても印象に残りました。中学校の授業を見ることで、改めて小学校での授業の大切さを実感することができ、とても良い経験になりました。今後も子供たちのサポートに全力で取り組んでまいります。



光山小学校  
豊田知美教諭



川角中学校  
岩附祐樹教諭

中学校で習うことは、小学校で習ってきたことの延長になります。そういった意味でも小学校で各自がどのように教わってきたのかを知る機会として、とても有意義な時間になりました。また小学校の先生は、子供たち一人一人を良く見ていることに感心しました。この研究会の経験を授業にいかしていきたいと思います。



「マジッククラブMORO」の皆さん

マジックに興味を持った子供たちからの依頼でマジック教室を開催しました。模範演技を見る目は真剣。講師である私たちを圧倒するほどの集中力で取り組んでくれました。最終回のマジックショーでは、堂々とした素晴らしい演技で、私たちにたくさんの感動を与えてくれました。



毛呂山小学校で行われた「マジック教室」の様子



川角小学校で行われた「防災体験学習会」の様子



学校の備蓄品が充実していることに驚きました。実際の避難所を見ることができて、とても良かったと感じています。起震車もなかなか体験できるものではないので、良い経験になりました。また機会があったら地区の皆さんと参加したいと思います。



防災体験学習会に参加をした  
西大久保区長  
高沢正之さん